4KPI（欠品率／廃棄率／原価率／予約充足率）の週次レビュー

用に、Looker Studioと相性の良いGoogleスプレッドシート構成を丸ごと作りました。まずはこのテンプレを使ってレポートを作成してください。与件のKPI要件に対応しています（週次レビュー体制の確立） 。与件外の想像は入れず、与件の事実で設計する方針です 。

### **1) ひな形（Excel）をダウンロード**

* Hattendo\_KPI\_Template.xlsx をダウンロード  
  + シート構成  
    - Orders（受注・出荷）：日付／受注ID／SKU／チャネル／予約フラグ／受注数量／出荷数量／単価・原価・売上・粗利率・充足率・欠品フラグ・年週
    - Inventory（入出庫・廃棄）：日付／SKU／ロット／消費期限／移動タイプ（入庫・出庫・廃棄・調整）／数量／期限まで日数・年週
    - CostMaster（原価表）：SKUごとの原価・標準売価
    - KPI\_Weekly（集計例）：年週・週開始日・欠品率・廃棄数量・廃棄率（出庫+廃棄）・原価率・粗利率・予約充足率 など（Looker Studioでそのまま使える週次粒度）

中身はダミーデータ入り。実運用では各シートに実データを上書きすれば、そのまま同じ設計で回せます。

### **2) Looker Studio（レポート）作成手順（5分）**

1. Google ドライブに上記ファイルをアップロード → Google スプレッドシートに変換しておく（推奨）。
2. Looker Studioを開く →「空白のレポート」→「データを追加」→「Googleスプレッドシート」→該当ブックを選択。
3. まずは週次KPI用に KPI\_Weekly（集計例） をデータソースに指定。
4. レイアウト（推奨）  
   * スコアカード（4つ）：  
     + 欠品率（欠品率）／廃棄率（廃棄率（出庫+廃棄））／原価率（原価率）／予約充足率（予約充足率\_平均）
   * 折れ線（時系列）：  
     + 維度：週開始日、指標：上記4KPI（複数指標OK）
   * 積み上げ棒（SKU別トレンド）：  
     + 維度：年週、ブレイクダウン：SKU（※SKU別の明細を見せたい時は後述の Orders データも追加）
   * 表（週×SKUの診断表）：  
     + 列：年週／SKU／受注行数／欠品行数／欠品率／廃棄数量／原価率／粗利率
   * フィルタ：期間（週開始日範囲）／チャネル／SKU
5. 見た目は、期間デフォルト＝「過去8週間」、色分けはKPIの条件付きフォーマット（例：欠品率>5%で赤）を推奨。

### **3) 生データで深掘りする場合（任意）**

Orders（受注・出荷） と Inventory（入出庫・廃棄） も **追加のデータソース** として接続し、明細と診断に使います。

* Orders用の推奨ビジュアル  
  + 表：日付/年週・SKU・チャネル・受注数量・出荷数量・充足率・欠品フラグ・売上金額・売上原価・粗利率
  + ピボット：行=SKU、列=年週、値=欠品率 or 充足率（ボトルネック週の発見）
* Inventory用の推奨ビジュアル  
  + 表：日付/年週・SKU・移動タイプ（入庫/出庫/廃棄）・数量・消費期限・期限まで日数
  + 時系列：年週×廃棄数量（期限到来の山と業務イベントの相関をチェック）
* （必要に応じて）Looker Studioの**計算フィールド**例  
  + 週キー：YEARWEEK(日付, 2)（月曜起点の年週）
  + 欠品率（明細ベース）：SUM(欠品フラグ) / COUNT\_DISTINCT(受注ID)
  + 充足率（行平均）：AVG(充足率)（予約のみの平均はフィルタ 予約フラグ = TRUE を適用）

週次レビューはまず KPI\_Weekly を使って**意思決定**→兆候があれば Orders / Inventory の明細に**潜る**二段構えが運用しやすいです。

### **4) 運用のコツ（与件の範囲で）**

* **FEFO運用**：Inventory にロット・期限を記録できる形にしてあるので、期限まで日数が小さい順に出庫されているか週次で点検（“期限優先”の徹底） 。
* **KPIは与件の事実で回す**：勝手仮説は入れず、与件の資源・制約・数字で定義→可視化→改善、の型で進める（TBCの型） 。
* **レビュー曜日を固定**：毎週同じ曜日・同じ指標・同じ順番（欠品→廃棄→原価→予約充足）で5〜10分レビュー→対策をOne-Pagerに残す（改善サイクルの固定化）。

必要なら、\*\*KPI\_Weeklyを自動集計（QUERY/ピボット関数）\*\*に切り替えたGoogleスプレッドシート版や、\*\*SKU別ダッシュボード（EC/B2B/体験の3面）\*\*もこちらで用意できます。まずはテンプレを接続して動く画面を作ってみてください。